

事業実績報告書

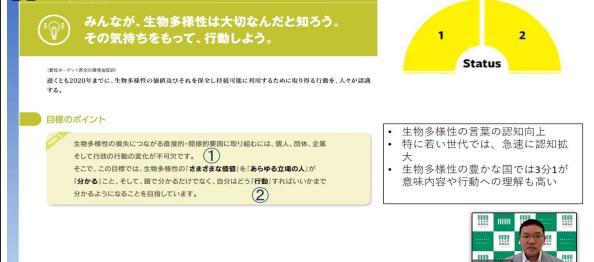
様式2
(2020年度)

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

講座番号	B42	講座名	生物多様性条約 ポスト愛知目標はどうやって決まる!?
記載日	2021/4/19	団体名・企業名	国連生物多様性の10年市民ネットワーク

〈講座全体の概要〉(300字程度)

前期に引き続き、「生物多様性条約 ポスト愛知目標はどうやって決まる!?」と題し、2020年10月に中国昆明で開催予定だったCOP15までの国際会議の準備会合の議論の進捗などの最前線を共有し、愛知目標の見直しについての議論に関する理解を深めることを目的としていた。が、コロナ禍によるパンデミックの影響はひきつづき継続しており、国際会議のスケジュールそのものが一年程度ずれたため、運営については正直なところ苦慮した。

	
※写真1の説明 オンライン開催の様子	※写真2の説明 オンライン開催の様子

〈企画・運営者の声(感想)〉(350字程度)

ポスト愛知目標についての国際会議での議論は約1年間延期されたため、本来の企画そのものの目的は実現できなかったように思うが、国家戦略の見直しや地域戦略の見直しについてはスケジュール通り行われているため、後期は愛知県の地域戦略の見直しについてのパブコメ提出にあわせた形で見直し案のご紹介などいただいた、参加者と議論を深めた。とはいって、コロナ禍におけるオンライン開催が一般的になつたため、この企画以外にも同課題をおいかける企画が東京、関西などの開催も増えたことから、正直なところ、テーマ的に、集合研修ができるのであれば、なごやで開催にこだわる必然性が少なくなったようには感じた。

〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3~5点、計350字程度)

参加者アンケートを取り忘れてしまいました…。大変申し訳ありません。ポスト愛知目標についての国際会議での議論は約1年間延期されたため、本来の企画そのものの目的は実現できなかったように思うが、地域戦略の見直しに伴つて愛知県自然保護課の担当者さんや名古屋市の担当者さんに多くご発言いただくことができ、参加者の人にとっては風通しよく感じられたという声はいただいた。